

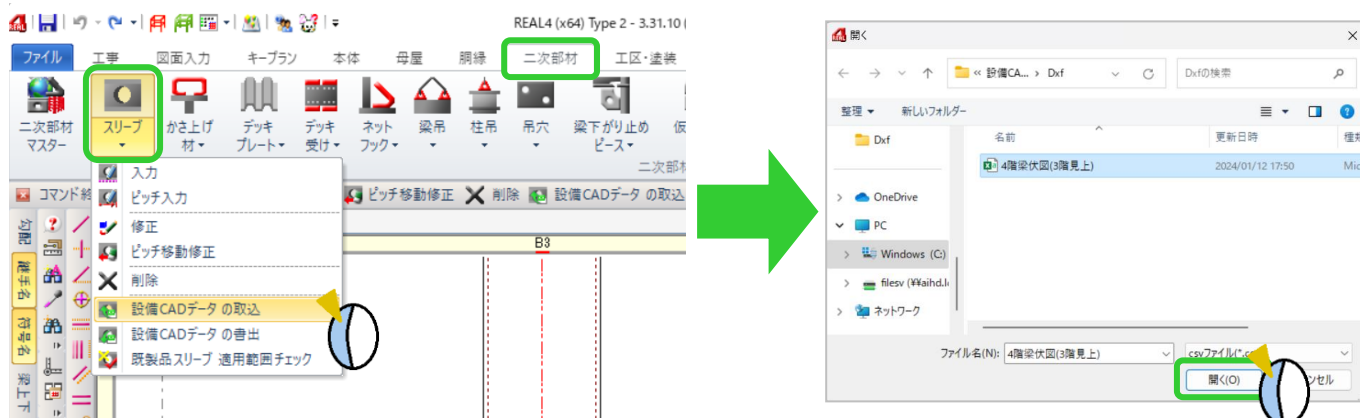
設備CADのスリーブデータをREAL4に取り込みたい！①

設備CADデータの取込でできます。

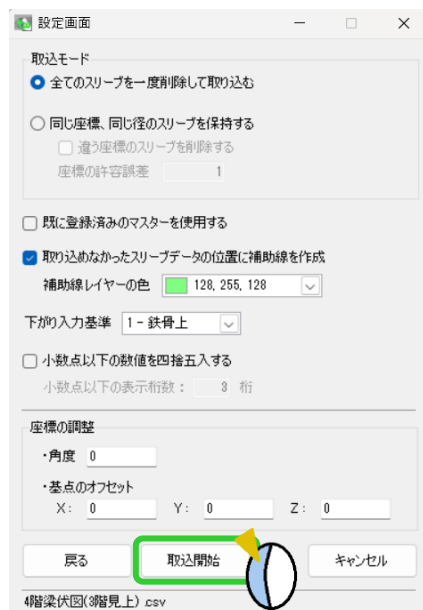
【設備CADデータの取込】を使用すると、設備CADの『CADWell Tfas』（株式会社ダイテック）や『Rebro』（株式会社NYKシステムズ）で登録し csv ファイルとして出力したスリーブデータを REAL4 で取り込めます。（設備CAD側での csv 出力の方法については各開発会社にお問い合わせください）

①【二次部材】 - 【スリーブ】 - 【設備CADデータの取込】をクリックします。

②読み込む csv データの選択画面が開くため、読み込みたい csv ファイルを選択し「開く」をクリックします。



③【設定画面】を表示します。
必要な項目を設定し「取込開始」をクリックします。



・取込モード

配置済みのスリーブがあった場合の取込方法を選択します。

※**同じ座標、同じ径のスリーブを保持する**を選択した場合、同じ位置に違う呼び径のスリーブが取り込まれた場合は取り込んだ呼び径に変更します。

・既に登録済みのマスターを使用する

を入れると、【二次部材マスター】 - 【スリーブ】で登録済みのスリーブと呼び径サイズが同じデータを取り込んだ際に、登録済みのスリーブマスターのデータを参照します。

スリーブマスターに登録されていないサイズを取り込んだ場合、もしくは を入れずに取り込みを行った場合はスリーブマスターに自動で部材名と呼び径のみ登録されるため、必要に合わせてデータを編集してください。

・取り込めなかったスリーブデータの位置に補助線を作成

を入れると、取り込みに失敗したスリーブデータの位置に指定したレイヤー色で補助線を作成します。

・下がり入力基準

取り込むスリーブデータの高さの基準を選択します。

・座標の調整

取り込む csv ファイルの座標の角度や基点を指定できます。

② 設備CADのスリーブデータをREAL4に取り込みたい！ 設備CADデータの取込でできます。

④【取り込みの確認】画面が表示されるため、失敗・警告データがないかを確認しOKをクリックします。

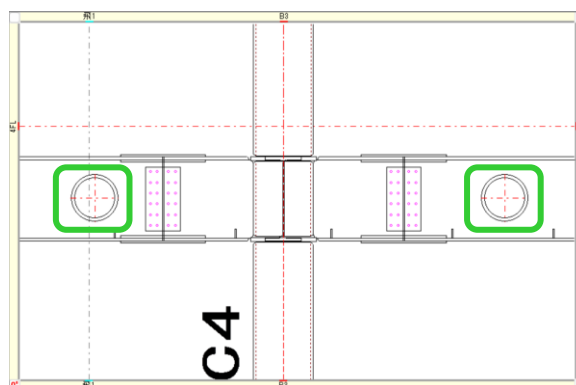
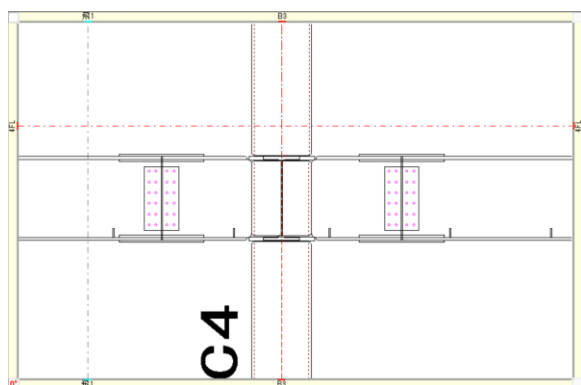


- ・失敗データ
取り込みに失敗したデータを表示します。
- ・警告データ
csv ファイルのデータと REAL4 に取り込んだデータで差異があるものを表示します。

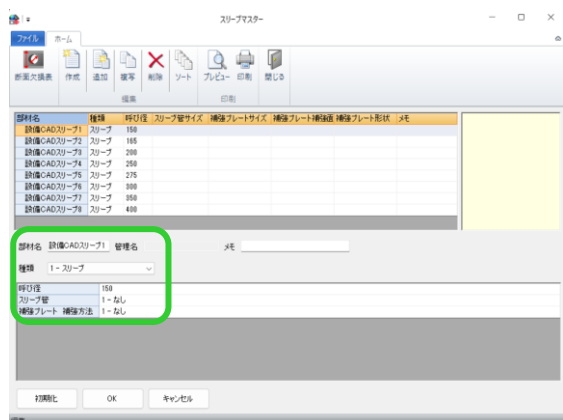
REAL4 で登録した階高に取り込んだ csv ファイルに記載されている階高名称が 1 つでも含まれていない場合、**階高名称の対応付け**画面が表示されます。

階高名称の対応付け画面が表示された場合は階高の関連付けを行ってください。

⑤ csv ファイルのデータが取り込まれ、スリーブが配置されます。



既に登録済みのマスターを使用するに☑ を入れずに取り込みを行った場合、もしくは事前にスリーブマスターでスリーブ情報を登録せずに取り込みを行った場合は呼び径のみマスター情報として取り込むため、必要に合わせて【二次部材マスター】 - 【スリーブ】で編集してください。



- ・設備 CAD データの書出
REAL4 で入力したスリーブの情報を csv ファイル形式で出力します。
- ・既製品スリーブ適用範囲チェック
配置済みの既製品のスリーブが適用範囲内に収まっているかをチェックします。

